



おらが湊鐵道応援団報

第63号

勝田 阿字ヶ浦

会津鉄道

那珂湊駅と芦ノ牧温泉駅が姉妹駅提携

歴史ある駅舎、駅に猫がいる、活躍する女性駅員…etc.



芦ノ牧温泉駅は昭和2年の開業当時の木造駅舎が大切に使われている

会津鉄道

旧国鉄・会津線を引き継ぎ第3セクターとして昭和62年に開業、本社は会津若松市。路線は西若松～会津高原尾瀬口間57.4km、前身の開業は昭和2年で85年の歴史がある。

6月2・3日に会津鉄道・芦ノ牧温泉駅と海浜鉄道・那珂湊駅の姉妹駅提携を記念して「会津モリモリツアー」が実施され、応援団員6名と海浜鉄道から吉田社長、那珂湊駅の女性駅員・藤田沙織さんが参加しました。

両駅は①歴史ある駅舎、②猫がいる、③女性社員が活躍、④応援団の活動拠点がある、⑤駅前食堂がある、など共通点が多いうえ、大震災後の利用客減少にも悩むことなどから、日本旅行と鉄道写真家・広田泉さんが同ツアーを企画し、姉妹駅提携が実現しました。

約30名の参加者は、会津鉄道社員や同鉄道の応援団「会津きどうしゃ愛好会」メンバーらと交流を深め、最後に提携の記念プレートを全員で駅舎に掲げました。同じプレートは近く那珂湊駅にも設置されます。



写真上＝芦ノ牧温泉駅の名誉駅長「ばす」。ちゃんと制服まで持っています。(前足にだけズボンを着用)
写真右上＝姉妹駅提携の協定書にサインした吉田社長と会津鉄道・大石直社長
写真右下＝姉妹駅提携の記念プレートが芦ノ牧温泉駅待合室に掲げられました。プレートを持つのは小林美智子芦ノ牧温泉駅長(左)と海浜鉄道・藤田沙織さん



23年度末 累積損失940万円に縮まる

22年度末 1億3900万円の損失から改善

5月末に発表されたひたちなか海浜鉄道の平成23年度決算は、震災による長期間の運休や巨額の被災復旧工事などがあつたにもかかわらず、約1億5千万円の大幅「黒字決算」になりました。その辺の「事情」を吉田社長に聞きました。

東日本大震災は、被災したひたちなか海浜鉄道の「決算」にも大きな影響を及ぼしました。

震災発生時点では、従来の国の災害復旧補助金制度により、復旧費約3億円のうち50%を事業者が負担することとなっていたため、約1億5,000万円の特別損失を計上し、平成22年度最終損益は約1億3,900万円の損失となりました。

平成23年度に入り、今回の震災については国・県・市より復旧費をほぼ全額補助する制度が新設されたため、23年度最終損益は逆に約1億5,700万円の黒字となりました。

また、復旧した施設のうち約2,600万円については資産計上されましたが、新補助金制度では、取得した資産は行政へ移管されることとなります。この分は平成24年度の処理となりますので、24年度決算ではその分の特別損失がまた発生する見込みです。これら3会計年度にわたる処理を合わせると、復旧費全額を補助金で補てんするには至らず、平成23年度末時点でも累積損失が約940万円あり、依然厳しい経営が続いています。しかしながら、湊線利用のお客は震災前と比較して9割くらい戻り、読売旅行等のツアー客の受け入れも順調です。少しずつ明るい兆しが見えてきました。(海浜鉄道・吉田)

24年度 応援団総会を開催

6月1日、おらが湊鐵道応援団通常総会が自治会や各種団体代表37名が参加して藤屋ホテルで開催されました。

総会ではこれから、ひたちなか海浜鉄道湊線の運行を側面から支援するとともに、自主的かつ地域関係者と協働で、利用促進施策を推進することや、来年、湊線開業100周年を迎えるにあたり5年間の活動と併せ、応援団として布石の事業を考察していくことなど、平成24年度事業計画と、予算案が満場一致で承認されました。さらに、来賓の本間市長や鈴木商工会議所会頭からは熱心な応援団活動にエールが贈られました。



総会であいさつする本間市長

今シーズンもビール列車を運行!

海浜鉄道では今年も7月25日から8月の水・木・金曜日を中心に、ビール列車「湊線一番搾り号」を夕方運行します。同列車は予約貸切制で那珂湊駅または勝田駅からの往復、所要時間約1時間半の飲み放題です(つまみ・持込み自由)。料金は25名まで52,500円。予約状況等は同鉄道ホームページまたは電話(029-262-2361)で確認を。

沿線や各駅の清掃・環境整備 ありがとうございます

写真左＝5月12日朝、那珂湊駅西側のハマギク花壇除草作業が地域自治会の皆さんの協力で実施されました。100名以上の参加者があり、予定より早く終了することができました。
写真右＝6月11日朝、大平睦会高齢者クラブの皆さんによる、金上駅構内花壇への花苗の植え付けがおこなわれました。



ハマギク花壇



金上駅

応援団facebookページは月間20万アクセス! ぜひご覧ください

- ◇応援団フェイスブック <http://www.facebook.com/MinatoLineSupporters>
- ◇応援団ツイッター <http://twitter.com/keha601>
- ◇おさむツイッター http://twitter.com/minato_osamu
- ◇線路脇の風景(ブログ) http://blogs.yahoo.co.jp/magical_brothers_diorama_office

りしー 陸 穂 ここにある幸せ

湊線地域連携コーディネーター 井坂美子

「今、どこでお仕事してるの?」の問いに「ひたちなか海浜鉄道でお世話になってます」と私…。「運転士さんになったの?」と、びっくり。「あはは…。驚かすのが楽しみな今日この頃です。さらに、茨城県に住んでから「車が嫌い…」とは大声では言えない状況でしたが、20年ぶり?の電車とバスを利用した通勤もかなり新鮮。勝田と那珂湊という2つのまちが合併した「ひたちなか市」を象徴しているのが湊線…と、2011年震災直前の市民活動フォーラムで学んだっけ…。



日々変わる田んぼの景色を愛でながら再確認…車社会からの解脱は湊線に乗って瞑想か…などと、高校生の笑い声に包まれ、レトロな車両に揺られながら妄想しております。

ところで、私の正体は「湊線地域連携コーディネーター」として、「ローカル線地域づくり大学(仮称)」の開校準備や沿線の調査などに従事しております。第三セクターによる経営再建や震災など湊線復興にかかる吉田社長のノウハウは財産であり、象徴的アイテム。これを体系化し、公共の支援やおらが湊鐵道応援団のみなさんなど市民協働の力で復活した「湊線」をコンテンツとする新規事業が、ローカル線地域づくり大学です。

2013年、湊線は100周年、海浜鉄道も5周年の節目に開校を予定しています。この夏は、8月から9月にかけて、3回のサマースクール開催を予定しています。

非力ではありますが、ローカル線地域づくり大学の創設が、湊線に関わる多くの方たちの喜びにつながるよう日々精進していきます。

潮風と遮るものない陽射し…目まぐるしく変わる海辺の天気にとドキドキしっぱなしですが、みなさまと関わる機会をいただいた幸せを実感しています。どうぞ、よろしく願いいたします。

※「ローカル線地域づくり大学」の詳細は、近日中に海浜鉄道ホームページでお知らせします。

ほとんど100円! 7/1(日)は野菜直売会

お買い上げ先着100名様に手づくりお赤飯プレゼント!

JAひたちなか女性部の皆さんの協力による、那珂湊駅ホームでの沿線農家の採れたて野菜と手づくり惣菜の販売は、7月1日(9時～11時40分頃まで)です。即売会に限りホームへの入場は無料です。また、お買い上げ品のお預かりサービスも駅でおこないます。野菜直売会は毎月第一日曜日に実施しています。

湊線乗車でおトクを実感!

ご利用ください! 「乗車特典サービス」

- ★乗車特典サービスは、湊線に乗車したお客様に駅員または応援団が発行する「乗車証明書」(当日限り有効)を参加店舗に提示することにより各店独自の優待が受けられるサービスです。現在沿線50店(施設)以上が参加し、お買物や宿泊で優待があります。
- ★サービスは乗車当日なら、何店でも利用できます。
- ★参加店名簿は、那珂湊駅待合室に常備してあります。また、海浜鉄道HPと応援団facebookでも随時更新しています。ぜひご利用ください。



連載!! No.32

湊のおさむくん

